

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年2月1日発行

## 1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	1週	2週	3週	4週	警報レベル		注意レベル
	1月1日 ~ 1月7日	1月8日 ~ 1月14日	1月15日 ~ 1月21日	1月22日 ~ 1月28日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	43	9	15	15	30	10	10
	14.33	3.00	5.00	5.00			
新型コロナウイルス感染症#	22	29	32	64	-	-	-
	7.33	9.67	10.67	21.33			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	3	2	0	4	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	6	17	10	8	4	-
感染性胃腸炎	4	7	15	12	20	12	-
水痘	0	3	1	3	2	1	1
手足口病	0	0	0	0	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

## 2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者入所施設	医療機関
対応状況	○	◎	-
備考	新型コロナウイルス感染症 溶連菌	新型コロナウイルス感染症	

### \*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

## 3. 新型コロナウイルス感染症の段階適用状況

国の基準に基づき、在院者数に応じた本県の段階(Ⅰ～Ⅲ)を定め、段階に応じて即応病床数を設定しています。

	段階	適用期間	県の在院者数
今週	Ⅰ	1/31~2/6	304人
前週	Ⅱ	1/24~1/30	373人

※県の在院者数は毎週水曜日時点

## 4. 栗原支所より

### 【 定点把握対象疾患 】

- ・ インフルエンザは前週と同数の発生数です。
- ・ 新型コロナウイルス感染症は前週より増加しました。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週より減少しましたが、警報レベル継続中です。
- ・ 感染性胃腸炎は前週より減少しました。
- ・ 水痘は前週より増加し、注意報レベルに達しました。

### 【 集団発生情報 】

保育施設において、新型コロナウイルス感染症及び溶連菌(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)、高齢者施設から新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

### 【 感染症コラム ～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～ 】

- ・ 突然発症し、急激に進行する細菌の全身感染症(敗血症ショック)です。
- ・ 毎年100~200人の患者が確認されており、近年増加傾向にあります。このうち約30%が死亡しており致死率が高いです。
- ・ 主な病原体はA群溶血性レンサ球菌(溶連菌)であり、子どもで急性咽頭炎や「猩紅熱(しょうこうねつ)」をきたす一般的な細菌です。
- ・ 明確な基礎疾患を持たない子供から大人、特に30歳以上に多いのが特徴です。
- ・ わずかな皮膚損傷(特に四肢)から侵入・感染しやすく、他には上気道感染、創傷や手術部位からの感染もありますが、感染経路は不明な場合が多いです。
- ・ 初期症状は疼痛、腫脹、発熱、血圧低下等です。
- ・ 急激かつ劇的に進行し、急性腎不全、多臓器不全等を引き起こし、ショック状態から死に至ることも多いです。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎0228-22-2117 ☎0228-22-7595

HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>